

恵山の火山活動解説資料（平成29年12月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気などの表面現象の状況（図 1、図 2-①）

Y 火口の噴気の高さは火口縁上概ね 50m 以下で、噴気活動は低調に経過しました。

・地震及び微動の発生状況（図 2-②③）

火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 2-④）

GNSS¹⁾ 連続観測では、火山活動によると考えられる地殻変動は認められませんでした。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



図 1 恵山 西南西側から見た山頂部の状況（12月23日、^{たかだい}高岱監視カメラによる）

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>) や気象庁のホームページ (http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平 29 情使、第 798 号）。

次回の火山活動解説資料（平成30年1月分）は平成30年2月8日に発表する予定です。

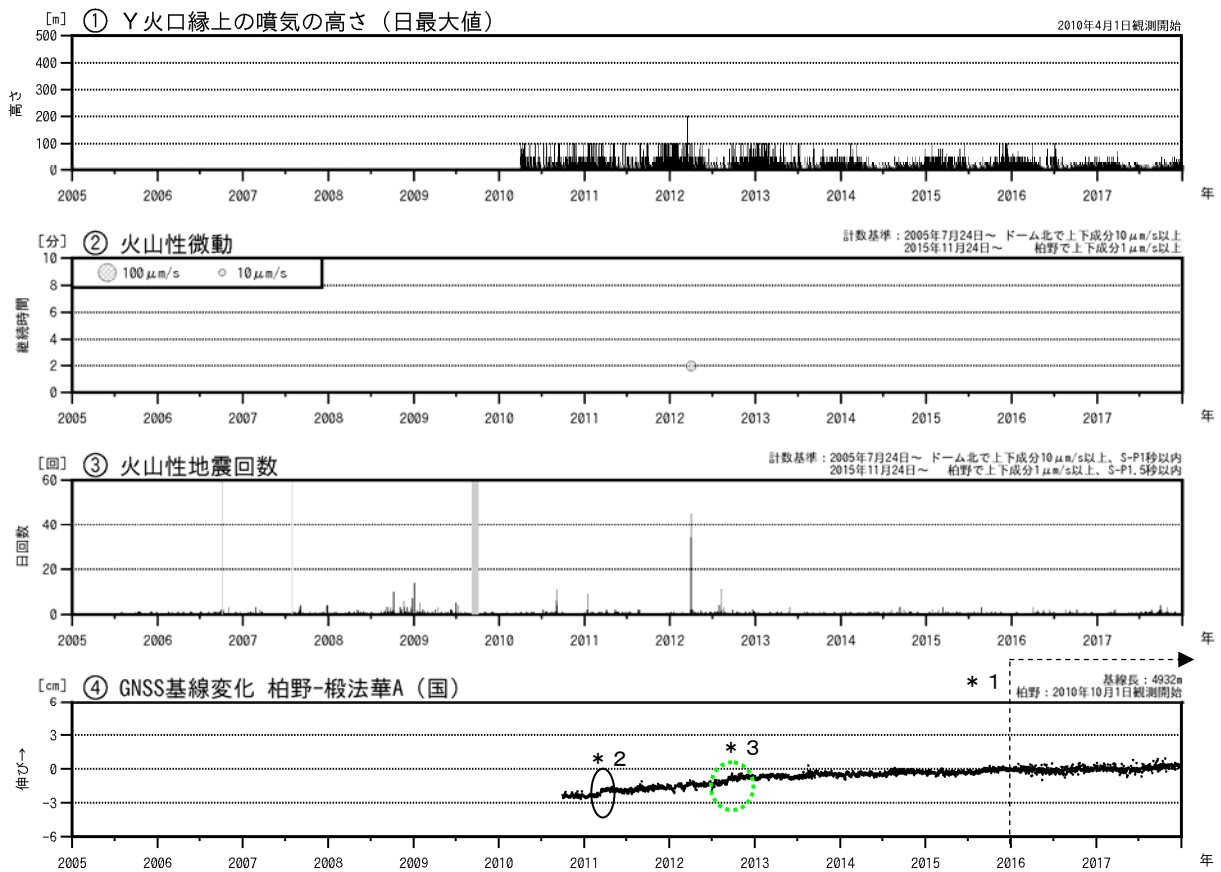
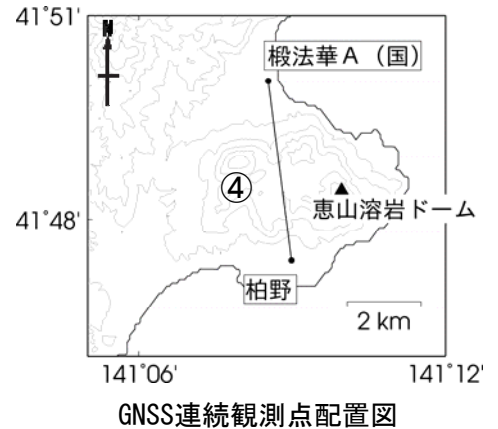


図 2 恵山 火山活動経過図 (2005年7月～2017年12月)

- ・ 灰色の期間は機器障害のため欠測しています
- ・ ④のGNSS基線は右配置図に対応しています
- ・ (国) : 国土地理院
- ・ 2015年11月より火山性地震及び微動の計数基準点をドーム北から柏野に変更しています
- * 1 : 2016年1月以降のデータについては解析方法を変更しています。
- * 2 : 楕円内の変動及び2012年頃までの基線長の伸びは、2011年3月11日に発生した「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の影響によるものであり、火山活動によるものではありません
- * 3 : 緑点線円内の変動は、機器更新によるものです



GNSS連続観測点配置図

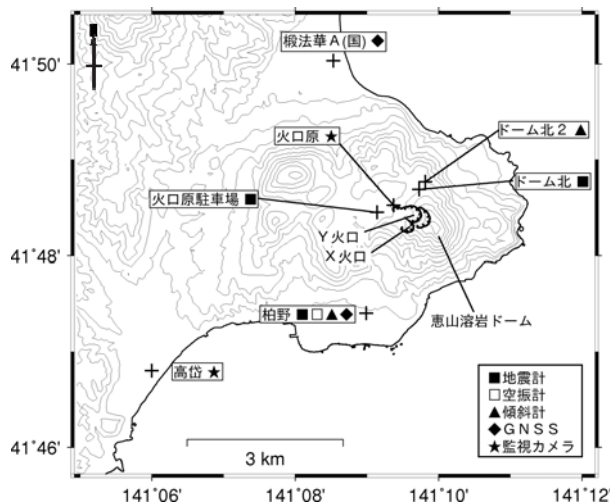


図 3 恵山 観測点配置図
+印は観測点の位置を示します
気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています
(国) : 国土地理院